



第476回 4/1 (火)

タムタムランニングクラブ

代表 佐藤心雄さん

ご家族 真世さん ころろさん (7歳)

中学1年生の佐藤さん、陸上競技(長距離)地区大会 800m ヒリからのスタート! 苦手を克服して中学3年で 3000mの青森で優勝し、東北大会から全国大会に行く経験をした。会社勤めの後 より幅広い世代の方々に走る楽しさを伝えたいと思い「タムタムランニングクラブ設立(スワヒリ語で

「楽しい」を上げました。真世さんは「子どもの成長を見守りながらも大人も本当に楽しそうだな」と見守りながらの応援です。最後に「スポーツも社会生活も“過程を大切に”することは大切なこと。これを広く伝えて、みんなが走ることを楽しめる空間を作ることが最大の夢!」と語りました。



第477回 4/15 (火)

グロリアのスペイン語

代表 グロリア・ヴェラスケスさん

小林重美(Mimi)さん、佐藤由美(Yumi)さん  
スペイン語「ハッピーバースデー」でスタート。グロリアさんはペルーのリマで生まれ、現在は和歌山市に住んで日本、ペルー、そしてスペイン語を話す 20 の国々の間に橋をかけるような活動をしています。スペイン語を教

えるだけではなく「人と人、文化がつながる場所」を作りたいと思っています。YumiさんとMimiさんからスペイン語の勉強がてら、スペイン語でVlog 動画を作ってあげているという報告もありました。ご興味のある方、一緒に活動しませんか!「¡ Nos vemos amigos! また会いましょう!」で放送を終了しました。



第478回 4/29 (火)

学校法人柏木学園 柏木学園高等学校

青木康太さん、渡邊陽太さん、庄野主真さん

皆さん3年生で吟詠剣詩舞部の部活をしています。渡邊さんは先輩の白虎隊を見て感じるものがあり入部したと話しました。日々の活動の記録を短歌にしてそれを同人誌に活字として残せることが嬉しい」と青木さん。庄野さんは、デイサービス施設に行き、お話ししたり得意の詩吟を吟じ、また楽しくゲームをしたりしているそうです。ボランティア活動は高校に入って、濱谷先生から勧められ、市民活動センターに寄って登録しました。実際 楽しいなと思って、またやりたいと思えるようになったと話しました。3人は、7月26~28日に開催される全国高等学校総合文化祭香川大会の吟詠剣詩舞部門に青木さんと渡邊さんは剣舞で、庄野さんは詩吟で参加します。



只今 特訓中!

5月の出演 第479回 5/6 血管けあ de メンテナンス 第480回 5/20 Story Time  
FM やまと 77.7MHz 第 1.3.5(火) 生放送 9:00~9:30 同日再放送 15:00~15:30

TSUBASA's トーク 第42回 カメラの思い出

ボランティアや市民活動にかかわり始めて6年ほどになるが、この道をともに歩んでいる私の一眼レフカメラもようやく手に馴染んできた。もともと岩手での農業ボランティアを写真で記録したいと思っていたときに、偶然リサイクルショップで出会った品だったが、振り返ればまったく違う意味で生きた仲間になっている。



カメラがあると、人と仲良くなれるかもしれない。岩手でボランティアを始めたばかりの頃、集落に隣接する田んぼ道をカメラを持って散歩していると、近所の小学生が遠くから気づいて駆け寄ってきた。

「つばささん、何やってるの? それカメラ?」ときかれて僕は、緑の稲や農道の写真を見せた。カメラが珍しいようで、小学生は小さい液晶を覗き込んで「ふーん。ほかに?」と言いつつ写真よりも操作する指の動きを見ているようだった。「撮ってみる?」と手渡すと、土手の小さい花や、看板、道路のシミなど目につくものを次々撮り始めた。

そのうち友達や兄弟たちも集まってきたので、使い方を教えて撮らせてあげた。子供たちにチャホヤされて嬉しかったのを覚えている。



別の日に、集落の年配の男性を通じて知り合った、娘のMさんとその夫に車で連れられて、山の中にある大きなお寺に行くことになった。正法寺という寺で、岩手県の観光地になっているらしい。Mさんは行きの車の中で「私たち何回か来たよ」と話してくれた。雨上りのお寺は非常にきれいだったが、屋内の撮影はできなかったので、外で写真を撮った。「Mさんたちの写真も撮りますよ」と寺を背景に並んでもらい、いろいろな角度から挑戦。人の写真はあまり撮らず慣れていないが、濡った地面に体を寄せて低位置から自然な笑顔が撮れた。普段はお互い自立した夫婦のように感じていたので、撮影時に寄り添って並んでいる姿をみて、なんだか気恥ずかしかった。後で聞いた話によると、夫婦はケンカの真っ最中で大変だったらしい。振り返れば車での会話のぎこちなさに思い当たらないわけでもなかったが、撮影時には想像もつかなかった。結果としてMさんの SNS には僕の撮った写真があがっており、その後の関係も良好なようである。「撮った写真はきっと財産になると思いますよ」という、ボランティアの受け入れ担当の方の言葉を覚えている。写真が好きな僕には嬉しい言葉だった。人の言葉や気持ちを引き出すのに、カメラが働いてくれたのだと思う。



サポーター 尾畑翼

大和市民活動センターは「大和市新しい公共を創造する市民活動推進条例」に基づいて設置されています。

「あの手 この手」 第214号 発行日: 2025年5月10日

発行: 大和市民活動センター 拠点やまと

大和市民活動センター <開館日 月~土 9:00~18:00>  
<休館日 12月29日~1月3日・毎月第3月曜日>  
〒242-0018 大和市深見西1-2-17

TEL: 046-260-2586 FAX: 046-205-5788  
e-mail: yamato@ar.wakwak.com  
http://www.kyodounokiyoten.com/

あの手この手で考えて、あの手この手で問題解決!

あの手 この手

あの手この手のマークの間のSは solution(解決)のSです。

第214号 2025年5月10日 大和市民活動センター【拠点やまと】発行

5月号  
2025

ペテルギウス玄関  
5月3日の生け花



第17回テーマ 守りたい、平和な世界

バラード賞 受賞

麦谷一颯(むぎや いぶき)さん 大野原小学校5年生(当時) 台湾

タイトル ナハトムジーク

作者のメッセージ 千年後、一万年後、私たちが元気になっているような世界にしたいです。

表紙絵は「やまと国際フレンドクラブ」(IFC)主催 <やまと国際アートフェスタ> の入賞作品を毎号掲載しています

☆「やまと国際アートフェスタ」は、「やまと国際フレンドクラブ」(IFC) \*の主催で毎年開催されています。  
☆「IFC」は、草の根の国際交流、外国人支援を行っている、「ともにくらすまち大和」を考えるボランティアグループです。

協働事業・市民活動推進補助金事業報告会を開催

令和6年度実施事業の活動内容を報告いたします  
どなたでも入場できます。

と き: 令和7年5月29日(木) 13時15分~17時  
と ころ: 大和市民保健福祉センター ホール

※大和市民活動センターは、「大和市民活動センターの管理運営」事業(行政提案型)として、「拠点やまと」と「市民活動課」の協働事業として運営しているため 報告会に参加します

市民活動推進補助金の対象事業が決定

めばえ

○みんなのスマホ(みんなのスマホ)  
・高齢者などを対象に、コミュニティの場にもなるスマートフォン教室を月1回開催予定

はぐくみ

○要約筆記体験会開催事業(大和市要約筆記の会筆つきへず)  
・要点を早くまとめるコツなどを学ぶ要約体験会(全3回)を開催予定  
問合せ: 市役所つながり推進課市民活動サポート係  
電話: 046-260-5103 Fax: 046-260-5138

# 第111回 共育セミナー

最高の幸せ、それは「平和」であること！この幸せをちょっと考えてみませんか！

**ゲストスピーカー 永井 圭子さん 平原 久子さん**

(大和市平和都市推進事業実行委員会) 開催(4月12日)報告



永井会長(右)と平原さん(左)は、長きにわたり、平和の大切さを訴える活動を精力的に展開

イラスト:望月則男

## 大和市次世代に戦争の記憶をつなげる条例 平成14年9月27日 条例第27号

- (目的)  
第1条 この条例は、「大和市平和都市宣言」の理念のもとに、市民の平和に対する意識の高揚、平和の意義の啓発を推進するため、次世代に戦争の記憶をつなげていくことを目的とする。
- (用語の意義)  
第2条 この条例で、「語り部」とは戦時体験及び追体験を有する者のうち、その体験を次世代に語りつぐ意欲のある者をいう。
- (推進内容)  
第3条 市長は、平和教育の推進に関する次の事業を実施する。  
(1) 語り部による市民を対象とした講話会 (2) 市内の小学校及び中学校その他規則で定める学校からの求めに応じた語り部の派遣  
市長は、戦時体験の継承に関する次の事業を実施する。  
(1) 語り部の発掘 (2) 語り部による講話の記録及び保存  
(以下略)

## 大和市平和都市推進事業実行委員会 公式YouTubeチャンネルを 開設しました！

～Web上で、語り部の戦時体験講話を聞いてみませんか～



大和市は、平成15年に「次世代に戦争の記憶をつなげる条例」を施行し、大和市平和都市推進事業実行委員会の活動の一つとして、戦時体験を語り継ぐ語り部の講話収録を長きにわたり行ってきました。年月の経過とともに戦争の記憶が風化しつつあり、語り部の方が高齢化する今日、次世代に戦争の悲惨さや平和の尊さについて語り継ぐことが大変重要であると考え、ひとりでも多くの方に語り部講話を聞いていただけるよう、公式YouTubeチャンネルを開設しました。

<p>大和市 戦時体験語り部 堀見智子さん 「平和のバトン」 広島被爆体験を語る</p>	<p>大和市戦時体験語り部 【中国出征】 北村明延さん</p>
<p>戦時体験語り部 樋口豊子さん</p>	<p>大和市 戦時体験語り部 兼田智子さん 紙芝居「芹沢の怪穴」</p>

名古屋大空襲を語る

チャンネル登録をよろしくお願ひいたします！

登録・視聴はコチラから



問い合わせ先

大和市平和都市推進事業の主管課は、「国際・市民共生課」と課名が変更になりました

今年は戦後80年、平和都市推進事業実行委員会では、これまで、語り部の記録はDVDに残してきましたが、より多くの人に伝えようとYouTubeチャンネルを開設して、戦争の記憶を伝えることを始めています。世界はウクライナ、ガザと戦争状態が収束せず、唯一の被爆国、日本の果たすべき使命は大きいはず。

この日のセミナーには、高校生から社会人までの6名の若者も参加。永井さん、平原さんのお話熱心に耳を傾けた。平和に関する活動やセミナーに、若い人が参加することはあまりなく、ゲストスピーカーも参加者も彼らへの期待は大きく、短い時間だったが意見交換ができた。若者も戦時中のお話は聞きたいと思っていることも確認でき、大和市平和都市推進事業実行委員会にも大学生が公募委員として活動しているとのこと。このセミナーが、その広がりやの端緒となることを期待する。(船越 英一)

NHKが、100歳100人に行った、「人生で最もうれしかったことは？」のアンケート調査で、最も多かった回答は、「戦争が終わって平和になったこと」でした。

あわせて、今年、戦後80年を迎えることから、「平和の幸せ」をテーマに共育セミナー開催しました。

スピーカーには、大和市平和都市推進事業実行委員会の永井圭子会長と、平原久子委員をお迎えしました

永井圭子会長は、実行委員会の活動や「大和市次世代に戦争の記憶をつなげる条例」などを、また、平原久子委員には、学童疎開船が沈没した「対馬丸」の映画や戦争当時の食べ物のことなど、それぞれ大変興味深いお話をいただきました。

また、セミナーでは、戦争体験者の高齢化が進む中で、NHKが放映した、広島の子が終戦直後の厳しい状況の中でも満面の笑顔で写真に写っている、当時の女子高校生に会いに行く映像を紹介しました。結局、写真に写った方(写真の一番左の長髪の方)からは、高齢を理由に会うことはできませんでした。しかし、その方から学校に手紙が届き、笑顔の理由について、「戦争が終わって平和になり本当に幸せでした。お腹はいつも空いていましたが、うれしくて笑顔になっていました。」と綴られていました。

今回のセミナーには、柏木学園高等学校の生徒さんと濱谷先生、また大学生、新社会人などの若い方にも参加していただきましたので、このような戦争を知る活動について、直に若い方と席を並べて意見交換などの交流ができたことは、大変良かったと思います。

また、同じように終戦直後に笑顔で写る女子高校生の写真なども紹介させていただきました(写真右)。

最後に、みんなで「里の秋」や「ぞうれっしゃよはしれ」の歌詞の意味や想いなどを考え、合唱し、その余韻の中で共育セミナーは終了しました。

(白井 博)



広島呉市のバレーボール女学生  
オーストラリア人記者の撮影(NHK 放映)



昭和20年の女学生



過去の平和都市推進事業チラシ



琉球新報が対馬丸沈没を報道した新聞を発行



若者が参加してくれました!!



# 台湾をめぐる雑感



前号のあの手この手で、第二次大戦中、さがみ野駅北側にあった高座海軍工廠(日本海軍の航空機生産工場)に台湾から約8000人の若者が少年工として来日し、働いたことから、彼らが台湾に帰国後お金を出しあって、台湾亭という東屋を建設し、大和市に寄贈したことは、過去の「あの手この手」表紙絵を振り返る形で紹介をしたし、今回の共育セミナーのゲストスピーカーの平原久子さんもお話されていた通り、大和市が平和都市推進事業を推進する際には、歴史的に大きなエポックメイキングなものであると考える。



2019年に訪ねた台湾にて

そんな台湾、千と千尋の神隠しの舞台として、九份、タピオカミルクティー、小籠包、マンゴーかき氷などのグルメ旅、夜市や、昨年地震で被害にあったが花蓮県の太魯閣溪谷など、日本人が観光で訪れやすいことでも知られているが、太平洋戦争後、台湾の人たちがどんな苦勞、生活してきたのか知っている人や、思いを馳せる人も少ないのではないだろうか。

ぼくは、趣味の写真を通して、台湾料理の先生と出会い、そのご縁で一般的な観光旅行ではなく、台湾を訪れる機会を得て、ここでは詳しく記さないが、1947年に発生した二・二八事件、白色テロといった戒厳令下の台湾の負の歴史を少し学んだ。この辺りもみなさんにも客観的に歴史として知ってもらえればと思う。

その歴史と言う意味で、映画「台湾アイデンティティー(劇場公開2013年7月6日)」を紹介する。

日本統治下で日本語教育などを受けて育ち、現在(当時)は晩年を迎えた台湾の人々が、たくましくひたむきに生きてきた姿をとらえたドキュメンタリー。1895年(明治28年)から1945年(昭和20年)までの半世紀、日本の統治下にあった台湾で日本語教育を受けた「日本語世代」といわれる人々は、2013年現在、人生の晩年期を迎えていた。第2次世界大戦や二・二八事件など、歴史のうねりに巻き込まれ、人生を歩み直さなくてはならなかった6人に寄り添い、彼らの語る過去の体験や日本に対して抱く愛情や悔恨から、未来を見つめていく。監督は、日台の密接な歴史をひも解いたドキュメンタリー「台湾人生」(08)も手がけた酒井充子。

(この項、映画.com ホームページから抜粋)

そして、今年7月、横浜市磯子区真照寺に「台湾人慰霊碑」が建立される。太平洋戦争で旧日本軍の軍人・軍属として犠牲となった約3万人の台湾人を慰霊するという、元日本兵で横浜台湾同郷会名誉顧問の呉正男さん(97)の悲願がかなうということだ。(東京新聞2025年3月15日号)

呉さんとは、料理の先生を通して、ご縁がある。昨年8月16日は、NHKラジオ第一放送で、「ボイス～戦争体験者からのメッセージ～台湾生まれ・日本兵として死を覚悟大切なことを書いてなかつた」に出演されました。平和な世界の実現のために多者の視点から捉えることが必要と考える。

呉正男(日本名:大山正男)さん:1927年(昭和2年)生まれ。東京の中学に進学し、在学中に陸軍特別幹部候補生に志願。現在の北朝鮮で敗戦。中央アジアの捕虜収容所で2年間、強制労働の後、1947年7月に日本へ戻るが、二・二八事件後の台湾へは帰ることができなかった。日本で大学卒業後、横浜華銀に就職。日本人の妻との間に一男をもうけたが帰化はしていない。横浜市在住。(呉さん来歴:シネマジャーナルホームページ作品紹介より)

この項文責 船越英一

## 4月の展示コーナー

### ひまわりの会

市民交流スペース内の「展示コーナー」では、個人・団体の活動の紹介や作品展を行うことができます。申込み方法については、大和市民活動センターまでお問い合わせ下さい。



共育ボードより★どれもこれもすごいですね。楽しませて頂きました★仲よし親子ステキです★同じ七福神でも趣が変わり素敵！それぞれ個性が出て楽しいです★全て、すてきですね。こんごもこのような活動ががんばってください！色々なバージョンで作っていくのも一つの作品ですね！とてもすてきな作品がみれてうれしいです。がんばってください★楽しい七福神、愉快な七福神、賢い七福神、笑える七福神、幸せを呼ぶ七福神、夢が生まれる七福神、これで揃った七福神★全部の作品すてきです。特に花と蝶が好きです★仲よし親子:すごくかわいくて、こんな島が見てみたいです。どうやったらそんなにこまかいところまでできるのかきもんに思いました。ムーミンの休日:家族みたいに楽しそうでいいと思うし、どういう思いでだい名にしたのかきになりました。かわいくて、自然とムーミンがどんなふうにくらしているのかかんじられました★仲よし親子のさくひんのシマエナガがまるくてかわいらしいと思いました★ぜんぶ絵がうまい111すごい!!!!!!★ムーミンの切り絵すごく素敵です！細かい所もきれいに切ってあって、すごい！白をききょうとした作品いいね！★とてもスゴクサタ。これからも応えんしてます。頑張ってください★すごいです。えがうまいです★とてもすごくうまい絵ですね!!★美しくかわいい切り絵ですね！★すずめの宿はすごく細かいところもはつきりわかりやすくかいていて個人的に一番好きです★すべての作品の細さに感心しました。素敵な作品をありがとうございます。★春らしい作品達！明るい気持ちになります。七福神にほっこり笑顔になりました(以上抜粋)

